

# 新年度スタート



新入社員を代表して宣誓する服部さん  
(きょう午前、エンシティホテル延岡)

旭化成

## 発祥の地延岡で入社式

4/2 小堀社長 「社会に貢献できる人に」

新年度がきょう、スタートした。旭化成、旭有機材など各企業では入社式が行われ、延岡市や日向市など官公庁では新採用者、異動職員への辞令交付式があった。(3面に関連記事)

旭化成グループの入社式はきょう、延岡市紺屋町のエンシティホテル延岡であり、高専卒以上の新卒418人(男性325人、女性93人)が旭化成発祥の地延岡で社会人としての第一歩を踏み出した。

グループの対象は6社。高専卒以上の新入社員数は昨年より39人多く、旭化成によると事業



旭有機材の平成30年度大学院・大卒者入社式(きょう午前、延岡市中の瀬町)

4/2 中野社長 「かわいがられる人材に」

## 旭有機材、5人が入社

旭化成グループの入社式はきょう、延岡市紺屋町のエンシティホテル延岡であり、高専卒以上の新卒418人(男性325人、女性93人)が旭化成発祥の地延岡で社会人としての第一歩を踏み出した。

旭有機材の平成30年度大学院・大卒者入社式はきょう、延岡市中の瀬町の延岡本社で行われ、男女合わせて5人が社会人としての第一歩を踏み出した。

旭有機材の平成30年度大学院・大卒者入社式はきょう、延岡市中の瀬町の延岡本社で行われ、男女合わせて5人が社会人としての第一歩を踏み出した。

岡で発祥したこと、展開する事業やグループ理念などに触れ、「皆さんはまずはそれぞれの職場で専門性をしっかりと身に付けてと激励。現場「現物」「現実」の「3現主義」の徹底が必要などと説き、「世界を舞台に社会に貢献できる人になることを目指して」と訓示した。

北葛城郡出身の「旭化成」という大きな舞台で世界の人々の命と暮らしに貢献できるよう精いっぱい仕事に取り組み「今後何か壁にぶつかったときにはきょうの決意を思い出し、前向きに取り組んでいく」と宣誓した。

田原佑亮さん(長崎大学院・串間市出身)が「先の平昌五輪では多くの日本人選手のあきらめない姿勢に感動し、挑戦することの大切さを学びました。私たちがときには困難に直面するでしょう。そんなときも失敗を恐れず、常に情熱的に挑み続けられる人材となるよう精進し、会社の発展に貢献することを誓います」と力強く述べた。

旭有機材の平成30年度大学院・大卒者入社式はきょう、延岡市中の瀬町の延岡本社で行われ、男女合わせて5人が社会人としての第一歩を踏み出した。

018年を盛り上げてくださいます。それが自分の成長につながります。旭有機材の一員として2

5人は今月28日まで延岡市などで研修を受けた後、5月7日からそれぞれの配属先に赴く。また新年度高卒者(7人)の入社式は3月23日に延岡市で行われた。既に研修を終えて延岡、愛知、栃木の事業所で勤務している。



# 市民の玄関口 魅力をアピール

延岡市が建設した延岡駅前複合施設エンクロスの全館オープンに先立って1日、東西自由通路の供用が始まったのに合わせて、エンクロスの市民内覧会と同通路の開通記念イベントが行われた。内覧会は午前中のみ2時間。ブック&カフェの販売はなかったが、試飲で提供された飲み物を飲みながら館内の本を自由に読むことができ、座席は1、2階合わせて240席ある。訪れた人たちは、それぞれ席を見つけてくつろぎ、エンクロス



開通した東西自由通路を通り初めする親子連れ

の「使い方」を体験した。東西自由通路は、駅の設備全体をまたいで幸町と日の出町を結ぶ歩道橋形の市道で、正式名称は「市道延岡駅東西自由通路線」。従来は歩行者がすれ違える程度の幅員しか



先行オープンした待合スペース。電光掲示板(右)が交通情報を案内する

なかったが、3・5段に広がり、屋根とエレベーター付き。エレベーターには自転車も載せられる。この日は通路内で鉄道写真展を開き、市民グループの「みちばた音楽隊」がストリートミュージシャン風に演奏するなどして、さまざまな活用方法が考えられる同通路の空間としての魅力をアピールした。

エンクロスのキッズスペースには、靴を脱いで下りるくぼみのような

授乳室、調乳器もある。内覧会では早速、大勢の親子がキッズエリアで絵本を読んだり、おもちゃで遊んだりした。

6歳の男児の母親の松田陽子さん(31)は「延岡市野地町」は「キッズスペースは独立しているのでも子どもが騒いでも他の人に迷惑にならないし、安心して遊ばせられる。母親同士、子ども同士のコミュニティもできそう」。

全館オープン後の今月中に2回、館内で手芸のワークショップを開く予定の西嶋弘子さん(59)は「延岡市古川町」は「こ



エンクロスの内覧会には大勢が訪れた

た。たくさんの人たちで生き生きと活動する姿が想像できて楽しみ。キッズスペースが充実しているの、親子がワークショップに参加してくれたらうれしい」と期待した。

エンクロスは、延岡市の玄関口にふさわしい「顔」とにぎわいの創出、市民活動の発表ができて参加できる場、交通機関の待ち合い、読書、勉強、仕事などさまざまな目的で過ごせる場所として延岡市が平成21年から約10年がかりで整備した。13日に全館オープンする。

小林奨館長(33)は「この13日以降はエンクロスに入館すると2時間まで無料となるが、現在の料金体系は従来の市営駐車場と同じ」。

に児童書コーナー、授乳室、調乳器もある。内覧会では早速、大勢の親子がキッズエリアで絵本を読んだり、おもちゃで遊んだりした。

た。たくさんの人たちで生き生きと活動する姿が想像できて楽しみ。キッズスペースが充実しているの、親子がワークショップに参加してくれたらうれしい」と期待した。

列車やバスの待合スペース(1階のみ)もこの日先行オープンした。年中無休で午前7時30分から午後9時まで利用できる。東西自由通路は防犯カメラが死角なく設置されており、24時間通行できる。駅北の駐車場は、13日以降はエンクロスに入館すると2時間まで無料となるが、現在の料金体系は従来の市営駐車場と同じ。

# 黄金時代、復活願う

## 旭化成陸上部後援会が総会

### 新人選手「先輩に食らい付く」

旭化成陸上部後援会の第26回総会は3月30日、延岡市紺屋町のホテルメリージュ延岡（1日から、エントナホテル延岡）で行われた。後援会員が選手やスタッフと交流する年度末の恒例イベント。約240人が出席し、全日本実業団対抗駅伝競争大会（ニューイヤ駅伝）での2連覇を改めて喜び、「黄金時代」の復活を願った。

会員の拍手に迎えられ、選手やスタッフが入場。あいさつに立った後援会の大野勝則会長はニューイヤ駅伝を細かく振り返り、「気持ちの良い正月を迎えられた。後援会は選手から

勇気、喜び、元気をもらっている」と述べ、来年度の活躍にも期待を寄せた。来賓を代表してあいさつした旭化成延岡支社の竹本常夫社長は「黄金期に期待している」とし、ニューイヤ駅伝3連覇やマラソングランドチャンピオンシップ（MGC）の出場権獲得などを掲げ「応援して

くれる皆さんの期待を背中に受けて結果を出して」と激励した。同部の片山俊之部長が乾杯の音頭を取り開宴。会場は一気ににぎやかになり、楽しそうに選手やスタッフと会話する参加者の姿が見られた。

総会では退部者と新人選手への紹介、後援会員の投票による選手表彰もあった。退部者としてあいさつしたのは堀端宏行さん（31）と出口和也さん（29）。半年前に引退し、現在は滋賀県で業務にあたっているという堀端さんは「世界選手権に2度出場したり、ニューイヤでエース区間を走らせてもらったり、貴重な経験をさせてもらった」と12年半の競技生活を振り返り、感謝の気持ちを述べた。

4月15日の長野マラソンがラストランになるという出口さんも「5千円、1万円、マラソンの自己ベストは全て延岡で出した。延岡はとても相性が良かった。自分は弱い人間。会社、後援会、チームスタッフ、皆さんの力を借りてここまで来られた」と同じく感謝の言葉で締めくくった。

今年の新人は、仲村尚毅



選手表彰で感想を述べる（右から）市田孝、市田宏、茂木の3選手



新人選手として登壇した（右から）仲村、小野、安藤の3選手



退部者としてあいさつする出口和也さん

「来年度最も期待している選手は、今年度最も期待だけが残った選手に4年連続で結果を残した長を感し、果を残せな長は満足でき、旭化成のるように頑は「賞をもらか、駅伝でしいる。マ結果を残したは入社以来、もらえるのは期待だけが残った選手に4年連続で

仲村選手は「トラックで勝負したい。またニューイヤ駅伝で1区を走ってみたい。これから力を付けて、自信を付けて活躍していく」と小野選手は「背は小さいが、旭化成にとって大きな存在になれるように頑張っていきたい」と安藤選手は「まずは延岡の地に慣れる。日本一のチームで走れることに誇りを感じ、故障することなく先輩に食らい付いていく」とそれぞれ抱負を語った。

選手表彰は3タイトルが設けられ、「今年度最も頑張った選手」に2年連続で市田孝選手、「今年度最も感動した選手」に市田宏選手、